

《家計急変世帯(専攻科) 記入例 裏面》

【5. 生計維持者の収入状況について】

(該当する口に☑をしてください。)

次の者の課税証明書等を提出します。
(該当する①～④に☑をしてください。②～④の場合には、理由欄の該当する口に☑をしてください。)

①	☒	生計維持者(原則父母)2名	理 由 (②～④の場合には、必ず☑が必要です。)
②	☐	生計維持者1名 (父または母) 右の理由欄のいずれにも当てはまらない場合は、①生計維持者2名になります。 (単なる別居は、①生計維持者2名になります。)	☐ 認定基準日より前に生計維持者が離婚・死別したため。 ☐ 出産時に婚姻状態になかったため。
③	☐	主たる生計維持者 1名 ※上記②以外 (生徒の生計をその収入により維持している者)	☐ 就学に要する経費を生計維持者に求めることが困難なため。(下記に理由を記入してください。)
④	☐	対象となる高校生等本人 (生計維持者、主たる生計維持者のいずれも存在しない場合) (高等学校等専攻科修学支援金に準じます。)	☐ その他(理由をご記入ください。) DV・虐待等の場合など、可能な範囲で記入してください。 例: 唯一の生計維持者である母が失踪し、祖母が面倒をみているため。

※理由が収まらないときは任意の別紙を添付してください。理由によっては詳細をお伺いする場合があります。

【6. 扶養親族について】

☐に☑をしてください。

該当する方は記入してください。

☒ 私(申請者)と下記の者は、健康保険法等における扶養者と被扶養者として扶養関係にあり、扶養契約をします。※収入状況に変化があった生計維持者等の必要書類を提出してください。(「申請の手引き」を参照)

☒ 下記に記入したものの全員が記載された住民票を提出します。

- 年齢・扶養の状況等は申請日現在の状況で記入してください。
- 同居していなくても就労しておらず、申請者または申請者以外の生計維持者に扶養されている場合は記入してください。
- 同居していても就労しており、健康保険に加入している場合は対象外です。

社会保険に加入の場合、保険証の被保険者が申請者は「1」、申請者以外の生計維持者は「2」、本人は「3」。国民健康保険に加入の場合は「3」に○をしてください。

高校生等との関係	申請者(扶養者)との関係	扶養されている人の名前	生年月日(年齢) ※年齢は申請日現在	扶養の理由	(申請者が加入している)保険者名称	保険証の被保険者
例1 姉	長女	伊勢 志摩子	H16.4.10 (22)	無職	(国民健康保険の場合) 国民健康保険(〇〇市)	1・2・3
例2 弟	次男	伊勢 鈴鹿	H23.6.2 (15)	中学3年生	(社会保険の場合) 全国健康保険協会	1・2・3
高校生等本人	次男	三重 次郎	H19.7.7 (19)	専攻科1年生	全国健康保険協会	1・2・3
	兄	長男	三重 太陽 H17.10.3 (20)	大学2年生	全国健康保険協会	1・2・3
	妹	長女	三重 幸子 H24.4.15 (14)	中学2年生	全国健康保険協会	1・2・3
						1・2・3
						1・2・3
						1・2・3

① 申請者及び申請者以外の生計維持者が扶養している人数 (3) 人

② 申請者及び申請者以外の生計維持者 (2) 人

①+②

5 人

★上記に書ききれない場合は、別紙(A4サイズの任意の用紙)に記入してください。

①扶養親族の人数 ②申請者及び申請者以外の生計維持者の人数を記入してください。

左記の合計の人数を記入してください。

記入が終わりましたら、記入もれ、添付書類もれがないかを再度確認して提出してください。